社会資本総合整備計画 事後評価書

エム只	<u> </u>											
計画の名称	南砺市におけ	る安心・安全なくらし	を支えるみちづくり									
計画の期間	平成29年	度 ~ 令和03年	度 (5年間)							重点配分対象の該当		
交付対象	南砺市											
計画の目標	目標 消防署再編に伴う重点緊急搬送道路を整備し、救急医療施設(第3次医療施設)への搬送時間を短縮して安心なまちづくりを行う。											
	地域包括医療ケアセンター等の福祉施設周辺の道路整備を行い、交通弱者の安全を確保する。											
	冬期間の安全な交通を確保するため、克雪まちづくりを行う。											
	歩行者・自転車等が安心して通行できる道路整備を行う。											
	「城端駅交通・情報拠点化基本構想」に基づきターミナル拠点としての機能強化を目指すとともに、消融雪施設の整備により冬期間の円滑な通行と安全の確保を行う。											
全体事業費	費(百万円)	合計 (A + B + C	+ D)	1,939 A	1,939	В	С	0 D	0 効果促進事業費の割合 C /	(A + B + C + D)	0	%

	計画の成果目標 (定量的指標)								
		定量的指標の現況値及び目標値							
番号	定量的指標の定義及び算定式	当初現況値	中間目標値	最終目標値					
		(H29当初)	(H31末)	(H33末)					
1	・人身事故件数を132件(H29) 130件(H33)へ減少させる。			•					
	人身事故件数全体に占める歩行者・自転車利用者の件数により算出する。	132件	131件	130件					
	(歩行者・自転車利用者の人身事故件数の減少) = (現況の人身事故件数) - (事業後の人身事故件数)								
			1						
			T						
			T						
			T						
	備考等 個別施設計画を含む - 国土強靱化を含む - 定住自立圏を含む - 連携中枢都市圏を含む - 流域水循環計画を含む -	地域再生計画を含む -	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供					
1									

		事業	地域	交付	直接				要素となる事業名	事業内容	市区町村名/	事業領	[施期	間(年度)	全体事業費	費用	個別施設計画
事業(大)	番号	種別	種別	対象	I	1 車 辛 老	種別 1	種別 2	(事業箇所)	(延長・面積等)				1 R02 R03		l	策定状況
(/						 される効果			1 (2	1 (1221 21113)	1 .2.2 .2.4	- 1		1 - 1	(/		1
		備考	一体的に実施することにより期待される効果 備考														
業	A01-001	道路	一般	南砺市	直接	南砺市	市町村道	改築	(1)下出入谷線 入谷	拡幅整備 0.70km	南砺市				636		-
													'				
	A01-002	道路	雪寒	南砺市	直接	南砺市	市町村道	除雪	(1)高堀太美山線他	道路除雪 333.1km	南砺市				145		-
								<u> </u>									
	A01-003	道路	一般	南砺市	直接	南砺市	市町村道	改築	(他)犬藪坪野1号線 北川	拡幅整備 0.15km	南砺市				63		-
										1							
	A01-004	道路	一般	南砺市	直接	南砺市	市町村道	新設	(他)二日町線他 福野	道路新設 0.49km	南砺市				212		-
								1		1						I	
	A01-005	道路	一般	南砺市	直接	南砺市	市町村道	改築	(2)小坂岩木線(和泉 ・岩木工区) 和泉・岩	歩道整備 1.05km	南砺市				350		-
									木								
		道路	一般	南砺市	直接	南砺市	市町村	新設	(他)城端駅前広場線	駅前広場 3,500㎡	南砺市				16		-
	A01-006						道		是安								

. +++4 -+ 111																	
A 基幹事業																	
		事業	地域	交付	直接	事業者	新型 1	種別 2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/	事業実施			全体事業費	費用	個別施設計画
基幹事業(大)	番号	種別	種別	対象	間接	尹未日	「生力」「	イモルリム	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	H29 H30	H31 I	R02 R03	(百万円)	便益比	策定状況
		一体的に	実施する	ることによ	より期待:	される効果											
		備考															
道路事業		道路	一般	南砺市	直接	南砺市	市町村	新設	(他)荒木29号線 荒	道路新設 0.08km	南砺市				167		-
	A01-007	,					道		木								
									1								
			1 .			T	T	T	T	T	T						
		道路	一般	南砺市	直接	南砺市	市町村	改築	(1)野田上原線 金戸	步道整備 L=0.39km	南砺市				100		-
	A01-008						道										
					•		•							•			
		道路	一般	南砺市	直接	南砺市	市町村	改築	(2)国広南原線 立野	歩道整備 0.60km	南砺市		Т		250		_
	A01-009	1	/32	113 4/3 110	12.2	113 4/3 115	道		原東(京塚)	J ZIEIM C. GOIM	113 433 11						
				_						T							
											小計				1,939		
											合計				1,939		
								1							,		
			1	1			1										
			1	1	1	1	1	1	1								
			1	T			T						T T				

	事後評価
東後部体の実施体制 実施時期	
事後評価の実施体制、実施時期事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
争後計画の美心体制	令和5年5月
	マ州コサコ月
	公表の方法
	A Reserve
事業効果の発現状況	
	事故発生件数が当初値 H29:132件(H28年度の件数)から目標値 R3:130件へ減らす目標を大きく上回る 58件(R4年度の件数)となった。
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	
	緊急車両だけでなく、一般車両や自転車利用者、さらに歩行者にとって安全に利用できる道路となり、安心して通行できるようになった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	
###7#### (A /// A -> A 077 >	
特記事項(今後の方針等)	
特に事政多発固所について実態を把握 	し、整備が必要な路線として抽出していく。

目	目標値の達成状況												
番号	指標(略	指標(略称)											
留亏	目標値 /	実績値	目標値と実績値に差が出た要因										
	人身事故	(件数の減少											
1	最 終 目標値	130件											
	最 終 実績値	58件											

1